

令和 6 年 3 月 3 1 日

母子里観測所出張 報告書

氏名：伊藤優斗

所属：名古屋大学・宇宙地球環境研究所／工学部電気電子情報工学科 塩川研究室（学部 4 年）

滞在期間：令和 7 年 3 月 27 日（木）～令和 7 年 3 月 29 日（土）

滞在先：北海道名寄市

今回、令和 7 年 3 月 27 日から同年の 29 日にかけて北海道名寄市を訪問した。そして隣町の幌加内町に位置する母子里観測所にて低緯度オーロラを観測するためのカラーカメラの設置を行った。

初日の夜に現地に到着し、その日はすでに夜遅い時間帯だったので、ホテルで一晩宿泊した。翌日は母子里観測所にてカラーカメラの設置作業に取り組んだ。作業は午前中に始め、日没前には終わった。設置途中、PC が正常に起動しなくなるなどのトラブルに見舞われることもあったが、当初の目的を果たすことができた。また、その日の夜にカメラが正常に動作していることが確認できた。最終日に昨日の夜中に撮影された撮影データを確認したところ、観測対象である夜空にピントが合っていなかったため、それを修正しにホテルから母子里観測所まで向かうことにした。しかし、あいにく道路に雪が積もっており断念せざるを得ず、後日現地在住の池神さんにピントの修正を頼むことにした。

カメラを設置するにあたって、一定の日時に撮影するプログラムを書くなど、貴重で良い経験となった。先にも述べた通り、作業中に予想だにしないトラブルに遭ったが、原因を冷静に分析し対処することができた。次回はここで起きた出来事を教訓にもっとスムーズに作業が行えるように邁進したい。



図 1：到着時の母子里観測所



図 2：カラーカメラ設置の様子